

令和6年度第3回 感染症発生動向調査協議会

令和6年6月19日

月番：澤田 明

1 前月の感染症発生動向について（2024年第18週～22週・5月）

<全数把握対象疾患>

- 一類感染症の報告はなかった。
- 結核は34例あり、毎週コンスタントに報告された（前年比：118.4%，2019年比：76.3%）。各世代（20歳以上）満遍なく分布していた。
- 腸管出血性大腸菌感染症は、1例（026）報告された
- 四類感染症の報告は、つつが虫病1例、レジオネラ症3例であった。
- 五類感染症
 - ✓ カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症3例、急性脳炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例（前月比：14.0%，2019年比：200.0%）、後天性免疫不全症候群1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症2例、水痘2例の報告があった。
 - ✓ 梅毒は15例報告された（前年比：105.7%，2019年比：160.0%）。

<定点把握対象疾患>

- 前月と比較し増加傾向にある疾患
 - ✓ RSウイルス感染症（前月比：145.5%，前年同期比：119.9%，2019年比：1115.4%）
 - ✓ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（前月比：111.1%，前年同期比：550.3%，2019年比：353.1%）---全国と比較すると岐阜県は少なめ
 - ✓ 手足口病（前月比：585.7%，前年同期比：1863.6%，2019年比：750.7%）
 - ヘルパンギーナ（前月比：2080.0%，前年同期比：118.2%，2019年比：367.2%）---総数は少ない
- 前月と比較し減少傾向にある疾患
 - ✓ 新型コロナウイルス感染症（前月比：67.4%）
 - ✓ インフルエンザ（前月比：8.7%）

2 検討すべき課題

<事務局から>

- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の流行について

3 情報提供（月番委員専門分野から）

第60回日本眼感染症学会 2024年7月5日（金）～6日（土） 於札幌 で開催されます。

4 その他（感染症対策推進課から）

- 東海北陸ブロック令和6年度結核予防技術者地区別講習会実施要領について

<検討結果>